

心房細動について

心房細動とは、心臓の上の部屋（心房）が小刻みに震えて脈が不規則になる不整脈です。

心房細動の特徴

心房の異常：心房が400～600回/分といった速い頻度で小刻みに震えます。
不規則な脈：心房の震えにより、心室への電気信号が乱れ、脈が不規則で速くなったり遅くなったりします。

症状

動悸やめまい、息切れ、胸の不快感といった症状を感じる人もいますが、自覚症状が全くない人もいます。

原因

高血圧、糖尿病、心筋梗塞、心臓弁膜症、慢性肺疾患、甲状腺疾患などが関係していることがあります。

加齢、ストレス、飲酒、喫煙、睡眠不足などが引き金になることがあります。

検査と診断

心電図、24時間ホルター心電図、心エコーなど

合併症

脳梗塞：脈の乱れで心房内に血栓（血の塊）ができやすくなり、脳の血管を詰まらせることがあります。心房細動があると、心原性脳梗塞のリスクは約5倍に高まると言われています。

心不全：心臓への負担が増加し、心不全を招くことがあります。

治療と注意点

症状がない場合でも、脳梗塞予防のためには治療が必要です。

薬物療法（抗凝固薬、心拍数コントロールなど）やカテーテル治療、電氣的除細動などがあります。

